

# ConMas Designer バーコード分解設定

2020/07/03

# 改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014/1/31	V3.2	--	初版を発行しました。
2016/1/14	--	--	レイアウトを調整しました。 「QRコードクラスター」の表記を「バーコードクラスター」に修正しました。
2016/3/15	V5.1.6427	--	「GS1-128」の設定を追記しました。
2016/6/6	--	--	「GS1-128」の設定について補足を追記しました。
2016/7/29	V5.2.16070	P15	「クラスター設定のみ削除」について追記しました。
		P26	バーコード分解ペースト機能について追記しました。
2020/4/23	7.0.20050	P5	分解先の個数を100→300に拡張しました。
2020/07/03	--	P27	「その他 制約事項」を追加しました。

# 目次

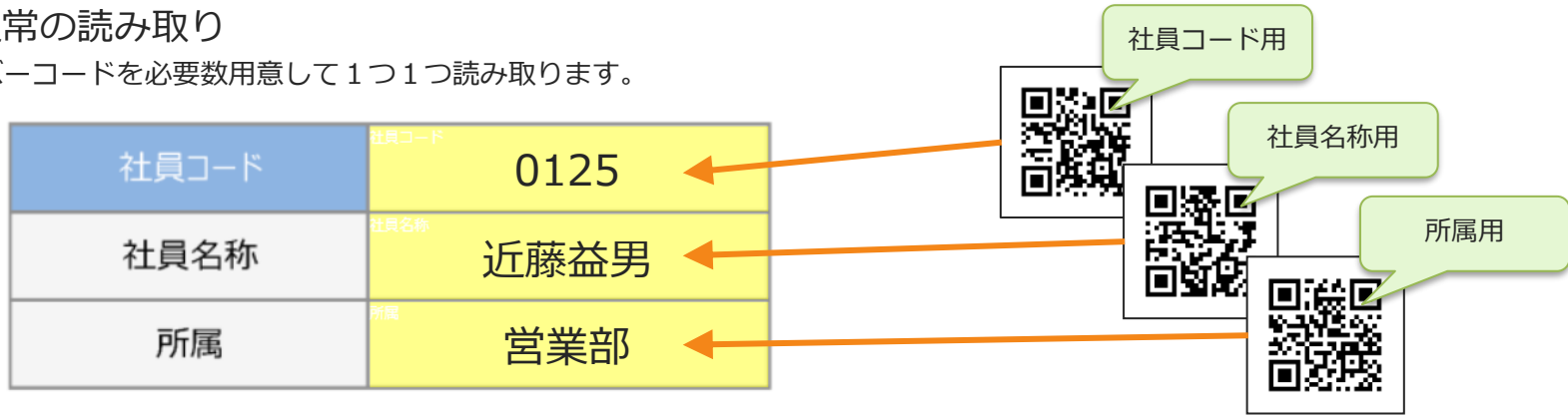
- バーコード分解とは
- 分解元と分解先
- バーコード分解を設定する
- 分解の設定
- 区切り文字タイプとエンコードの設定
- 区切り文字タイプ/エンコード 編集画面
- 桁数指定区切りの場合の設定
- 別シートのクラスターを分解先に指定する
- 登録した分解先の解除
- データの一部を使用するには
- 分解元を分解先として指定する
- 分解設定の登録
- バーコード分解設定後のクラスター表示
- アプリでの分解入力の実行
- GS1-128の場合の設定
- バーコード分解設定ペースト機能

# バーコード分解とは

- バーコード分解を利用すると、ひとつのクラスターで1D/2Dコード（バーコードおよびQRコード。以下「バーコード」と表記します。）を読み取り、読み取り結果を複数のクラスターに分解して一度に入力することができます。

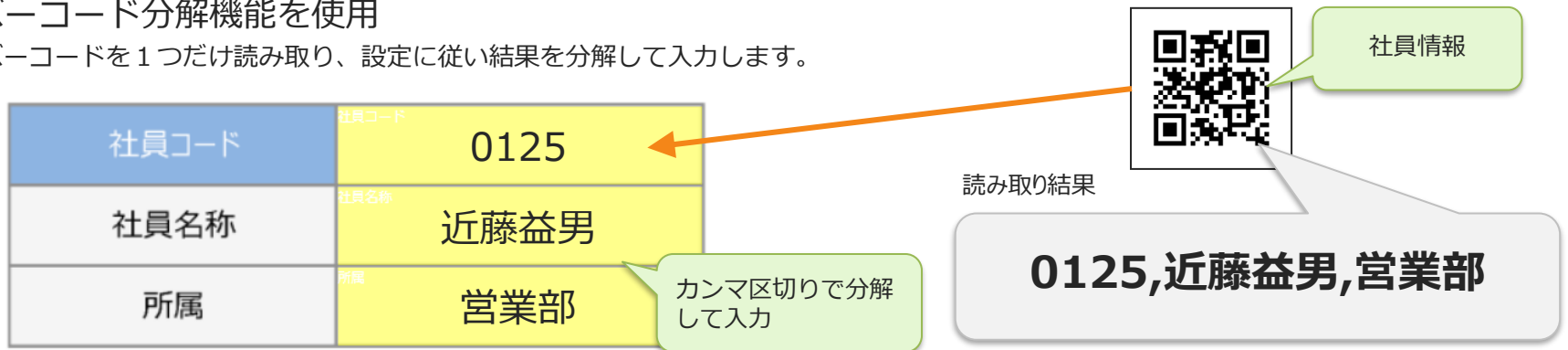
## ▼通常の読み取り

バーコードを必要数用意して1つ1つ読み取ります。



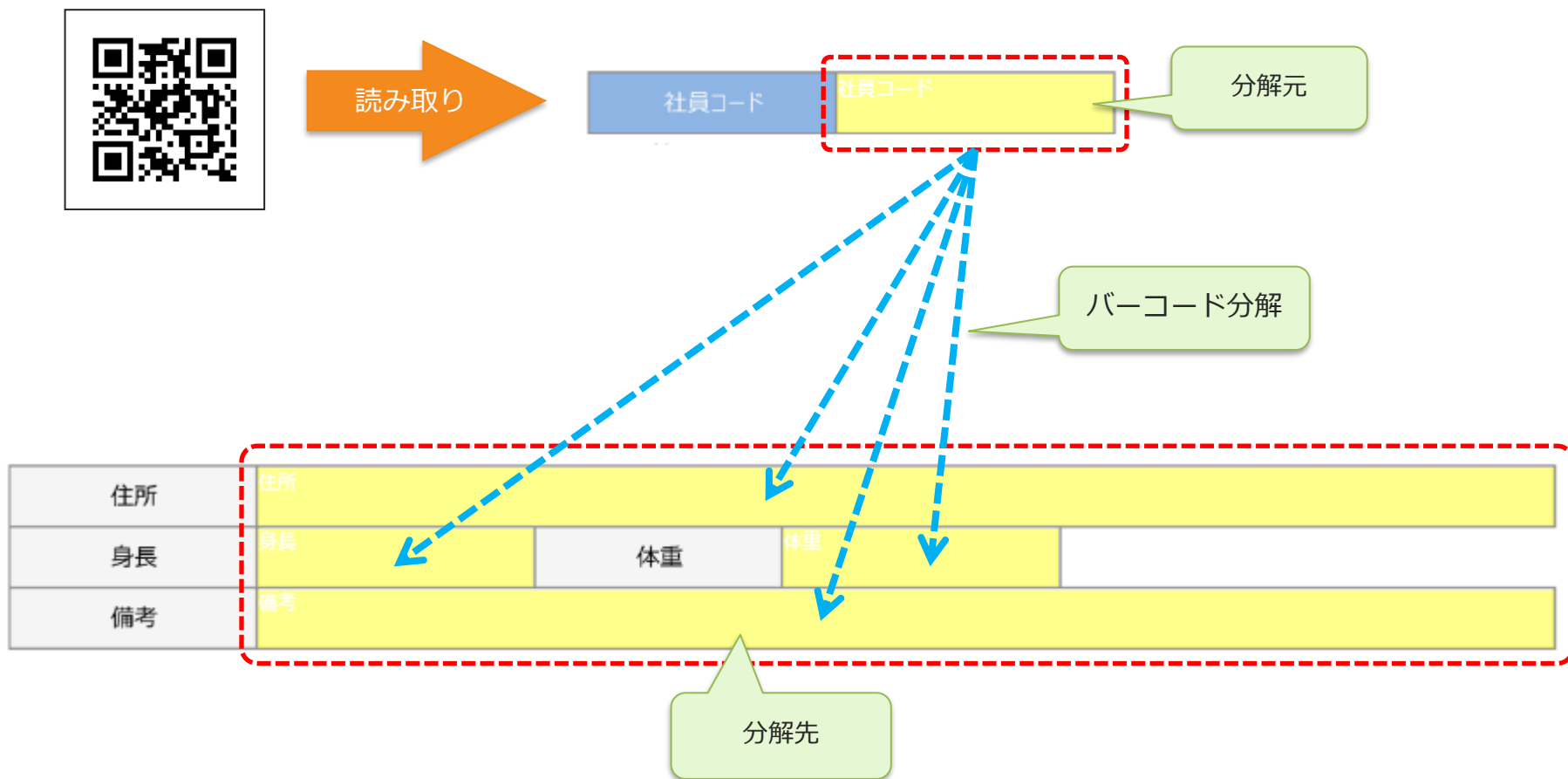
## ▼バーコード分解機能を使用

バーコードを1つだけ読み取り、設定に従い結果を分解して入力します。



# 分解元と分解先

- 分解元：タブレットでの入力時に、バーコードを読み取るクラスター
- 分解先：分解元の読み取り結果から、分解された値が入力されるクラスター
- ひとつの「分解元」から指定できる「分解先」は300個までとなります。  
(※Ver.7.1.20050にて100個から300個へ拡張しました。これより以前のバージョンでは100個までになります。)
- 「分解元」「分解先」に指定できるクラスターは「バーコードクラスター」のみとなります。



# バーコード分解を設定する

- バーコード分解は Designer で設定します。
- 帳票定義編集画面のクラスターモードから、「バーコード分解設定」を選択します。
- 「バーコード分解設定」モード中は、「バーコードクラスター」が緑色で表示され、他のクラスターの編集はできません。

拡大率 FIT

クラスターモード

配置

選択

固定

ネットワーク設定

バーコード分解設定

移動設定

フォームマスター設定

バーコード分解設定

デバイスコード分解

ハンドツール

プレビュー

クラスター名称変換

グループID設定

グループID自動設定

社員情報

社員コード	社員コード (Code)
社員名称	社員名称 (Code)
所属	所属 (Code)

その他情報

住所	住所 (Code)		
身長	身長 (Code)	体重	体重 (Code)
備考	備考 (Code)		

顔写真

自由記入欄

自由記入

(外)

バーコード分解情報

No	シートNo	クラスターIndex
----	-------	------------

「バーコードクラスター」が緑色で表示されます。

バーコード分解設定モード中はクラスター一覧が「バーコード分解情報」に変わります。

# 分解の設定

- はじめに、分解元のクラスターをクリックして指定します。
- 「バーコード分解情報」が、「バーコード分解 設定」に変わります。

社員コード	社員コード	選択中
社員名称	社員名称	(Code)
所属	所属	(Code)

- 「バーコード分解 設定」から分解先を登録したいレコードを選択します。
- レコードの「No」は、区切りで分割した文字列を1から順に並べた内容となります。

分解元は No が「親」と表示されます。

No.2 は、右の例の場合、「近藤益男」が入力されます。

**0125,近藤益男,営業部**

↓

No.1	No.2	No.3
0125	近藤益男	営業部

# 分解の設定

- 選択したレコードに登録したい分解先のクラスターを編集画面上でクリックします。
- 選択していたレコードにクリックした分解先クラスターが登録されます。

分解先クラスターは青色で表示されます。

分解先クラスターが登録されます。

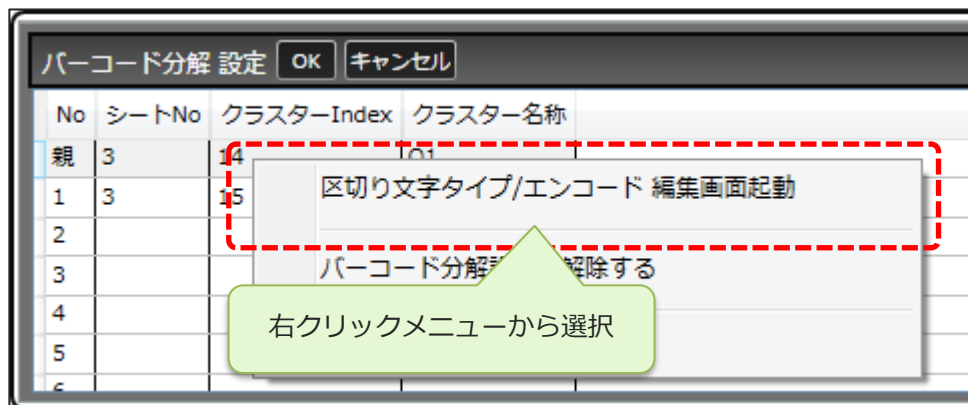
No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称
親	1	0	社員コード
1			
2	1	1	社員名称
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

- 複数の分解先を指定するには、再度「バーコード分解 設定」のレコードを選択し、登録したい分解先クラスターをクリックします。
- 設定を完了するには、「バーコード分解 設定」の右側にある「OK」をクリックします。

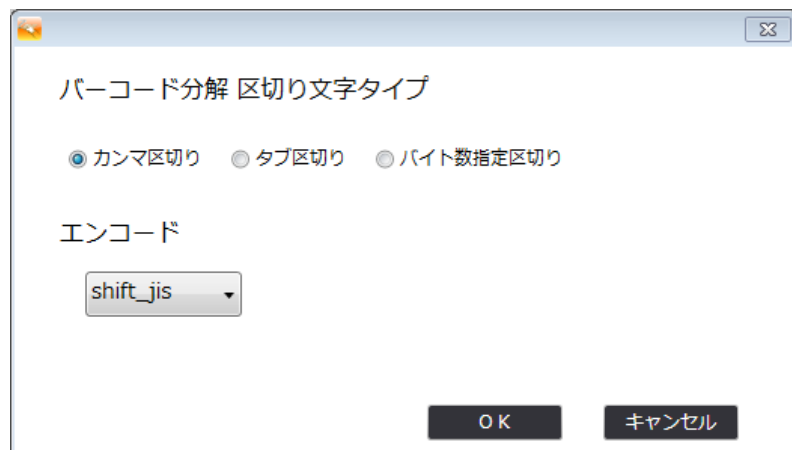


# 区切り文字タイプとエンコードの設定

- 「バーコード分解 設定」上で右クリックメニューから「区切り文字タイプ/エンコード 編集画面起動」を選択します。



- 編集画面で区切り文字タイプとエンコードを設定します。
- デフォルトでは「カンマ区切り」「shift\_jis」に設定されています。



# 区切り文字タイプ/エンコード 編集画面

- 分解元で読み取った文字列の分解方法は次の4通りのから選択します。
- 「shift\_jis」「utf-8」のいずれかのエンコードを選択します。
- **カンマ区切り**
  - 文字列を“,” (カンマ) で分解します。

0125,近藤益男,営業部



0125

近藤益男

営業部

- **タブ区切り**
  - 文字列をタブで分解します。

0125 近藤益男 営業部

タブ

タブ



0125

近藤益男

営業部

- **桁数指定区切り**
  - 「開始位置」と「バイト数」で区切りを指定し、分解します。数値は半角が1、全角が2でカウントします。

0125近藤益男営業部

開始位置 : 0  
バイト数 : 4

開始位置 : 4  
バイト数 : 8

開始位置 : 12  
バイト数 : 6



0125

近藤益男

営業部

# 区切り文字タイプ/エンコード 編集画面

- **GS1-128** ※ Designer Ver.5.1.6427 以降で利用できません。
  - GS1-128の規則に従って、文字列をID部とデータ部に分解し、IDに対応したクラスターヘデータを入力します。

**(10)79835(240)147(17)160309**



(17)

(240)

(10)

**160309**

**147**

**79835**

# 桁数指定区切りの場合の設定

- 「桁数指定区切り」の場合、「バーコード分解 設定」のグリッドに、「開始位置」と「バイト数」の列が表示されます。
- 「開始位置」と「バイト数」はセルをダブルクリックして編集できます。
  - 開始位置：0始まりで、0以上の数値を入力します。
  - バイト数：1以上の数値を入力します。
- 「分解先」を登録したレコードでは入力が必要です。分解先を登録していないレコードおよび「親」のレコードには入力は不要です。

No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称	開始位置	バイト数
親	1	0	社員コード		
1					
2	1	1	社員名称	8	16
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
0	1	2	5	近	藤	益	男					

- 「開始位置」0 / 「バイト数」4 で 「0125」
- 「開始位置」4 / 「バイト数」4 で 「近藤」
- 全角は 2カウントです。「益」を指定するには「開始位置」8 / 「バイト数」2 とします。
- 全角文字の途中を指定した場合や、文字列が指定に足りない場合は、そのレコードの値は予期せぬ値や空になります。

# 別シートのクラスターを分解先に指定する

- 分解元と別のシートにあるクラスターを分解先にするには、分解元を指定してからシートを移動し、分解先のクラスターを登録します。

社員コード 社員コード 選択中

社員名称

所属

例) シート1で分解元を設定します。

その他情報

住所 住所

身長 身長

備考 備考

バーコード分解 設定 OK キャンセル

No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称
親	1	0	社員コード
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

4 / 4

拡大率 FIT

クラスターモード

ネットワーク設定

カーボンコピー設定

複写コピー時移動設定

カスタムマスター設定

バーコード分解設定

デバイスコード分解

ハンドツール

プレビュー

生年月日

視力

備考?

住所 (分解先)

備考

分解先のクラスターがあるシートへ移動します。

分解先のクラスターを登録します。

バーコード分解 設定 OK キャンセル

No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称
親	1	0	社員コード
1			
2			
3			
4	4	0	住所
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 登録した分解先の解除

- 登録した分解先を解除するには、「バーコード分解 設定」から、解除したいレコードを選択（複数可）し、右クリックメニューの「バーコード分解設定を解除する」を選択します。
- 「全て解除」を選択すると、No.1から300のすべての分解先が解除されます。

No	シートNo	クラスター-Index	クラスター-名称
親	1	0	社員コード
1	1	0	社員コード
2	1	1	社員名称
3	1	2	所属

No	シートNo	クラスター-Index	クラスター-名称
親	1	0	社員コード
1	1	0	社員コード
2	1	1	社員名称
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

解除されたバーコードクラスターは元の緑色表示に戻ります。

選択していたレコードの分解先設定が解除されます。

# クラスター設定のみ解除

- 区切り文字タイプが「バイト指定」または「GS1」の場合、「クラスター設定のみ削除」を実行することで、「開始位置」「バイト数」および「アプリケーション識別子」「桁数」の情報を残したまま、クラスター設定のみを削除することができます。

No	シートNo	クラスター-Index	クラスター-名称	開始位置	バイト数
3	1	15	クラスター-5		
4	1	16	クラスター-6	4	8
5	1	25	クラスター-9	12	8
6	1	26	クラスター-10	20	8
7	1	33	クラスター-13		
8	1	36	クラスター-14	28	8
9	1	45	クラスター-17		
10	1	46	クラスター-18		
11	1	55	クラスター-21		
12	1	56	クラスター-22		
13	1	65	クラスター-25		
14	1	66	クラスター-26		

区切り文字タイプ/エンコード 編集画面起動

バーコード分解設定を解除する

クラスター設定のみ削除

全て解除



No	シートNo	クラスター-Index	クラスター-名称	開始位置	バイト数
3	1	15	クラスター-5		
4				4	8
5				12	8
6				20	8
7	1	35	クラスター-13		
8	1	36	クラスター-14	28	8
9	1	45	クラスター-17		
10	1	46	クラスター-18		
11	1	55	クラスター-21		
12	1	56	クラスター-22		
13	1	65	クラスター-25		
14	1	66	クラスター-26		

# データの一部を使用するには

- 分解したデータは順に1~300のレコードに割り当てられ、必要なレコードにだけ分解先を登録することで、データの一部のみ利用できます。

社員コード	社員コード (分解元)
社員名称	社員名称 (分解先)
所属	所属 (分解先)

No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称
親	1	0	社員コード
1	1	0	社員コード
2	1	1	社員名称
3	1	2	所属
4			
5	1	3	住所
6	1	4	身長
7			
8	1	5	体重
9	1	6	備考
10			

この画像例の場合、No.4、No.7、No.10に相当するデータを無視しています。

例) 区切り文字タイプ = カンマ区切り

No.1      No.2      No.3      No.4      No.5      No.6      No.7      No.8      No.9      No.10

社員コード,社員名称,所属,生年月日,住所,身長,視力,体重,備考,備考2

No.4「生年月日」、No.7「視力」、No.10「備考2」のレコードに、分解先を登録しない設定です。



# 分解元を分解先として指定する

- 分解元自身を分解先に登録することができます。
- 別の分解元の分解先には指定できません。
- これ利用する事で、読み込んだデータの一部だけを表示する、単独のクラスターを作成できます。

The screenshot shows a software interface with two main parts. On the left is a form with fields for '社員コード' (Employee Code), '社員名称' (Employee Name), and '所属' (Affiliation). The '社員名称' field is highlighted with a red dashed box and labeled '(分解元)' (Decomposition Source). Below this is a section for 'その他情報' (Other Information) with fields for '住所' (Address), '身長' (Height), and '備考' (Remarks). On the right is a table titled 'バーコード分解 設定' (Barcode Decomposition Settings). The table has columns for 'No', 'シートNo' (Sheet No), 'クラスターIndex' (Cluster Index), and 'クラスター名称' (Cluster Name). The table contains the following data:

No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称
親	1	1	社員名称
1			
2	1	1	社員名称
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

A red dashed box highlights the row with No. 2, Sheet No. 1, and Cluster Index 1. A callout box points to this row with the text: '読み込んだデータの2番目だけを取り出して入力するバーコードクラスターとなります。' (Only the 2nd row of the imported data is extracted and used as a barcode cluster for input.)

# 分解設定の登録

- 分解先を登録し終わったら、「バーコード分解 設定」のタイトル右にある「OK」で確定します。
- 「キャンセル」をクリックすると、編集内容を破棄します。

No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名
親	1	0	社員コード
1	1	0	社員コード
2	1	1	社員名称
3	1	2	所属
4			
5	1	3	住所
6	1	4	身長
7			
8	1	5	体重
9	1	6	備考
10			

# バーコード分解設定後のクラスター表示

- クラスターモードが「バーコード分解設定」の時、クラスターの表示色が変わります。

社員コード	社員コード (分解元)
社員名称	社員名称 (分解先)
所属	所属 (分解先)

その他情報

住所	住所 (Code)		
身長	身長 (Code)	体重	体重 (Code)
備考	備考 (Code)		

分解元は赤

分解先は青

分解設定されていないバーコードクラスターは緑

- 分解設定されたクラスターを選択すると、対応するクラスターの表示色が濃くなり強調されます。

社員コード	社員コード (分解元)
社員名称	社員名称 (分解先)
所属	所属 (分解先)

その他情報

住所	住所 (分解元)		
身長	身長 (分解先)	体重	体重 (分解先)
備考	備考 (Code)		

強調表示

選択中のクラスターと対応がない分解設定のクラスターは薄いままになります。



# アプリでの分解入力の実行

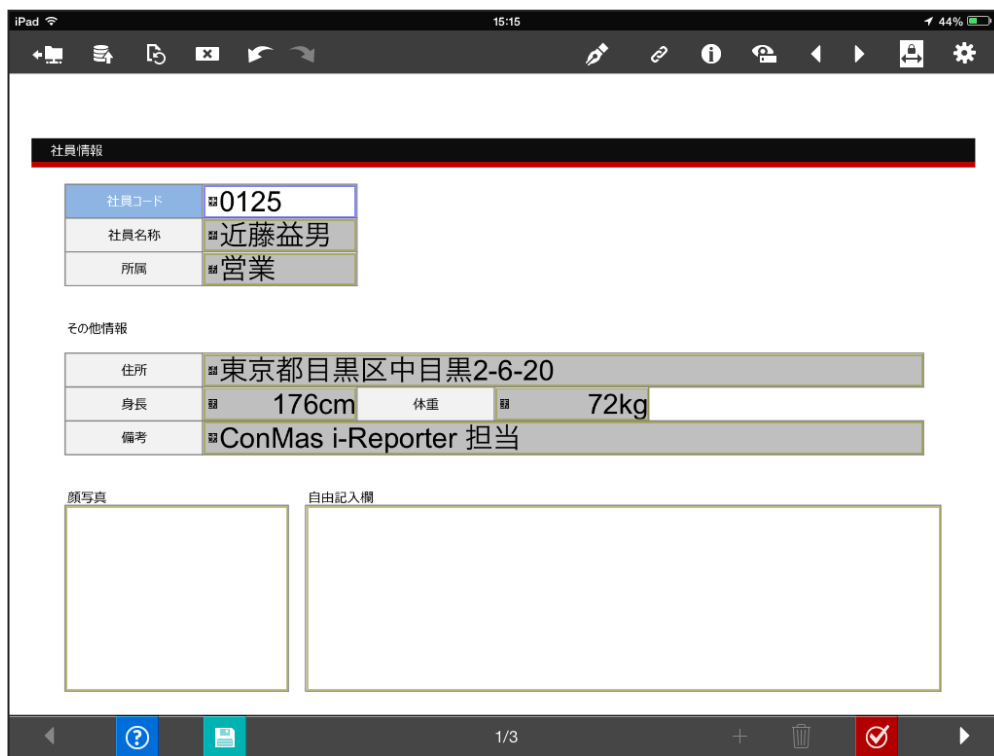
- 分解設定に従い、分解先のクラスターに値が入力されます。

読み取りデータの例)

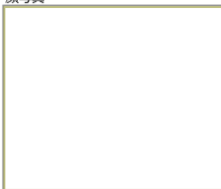
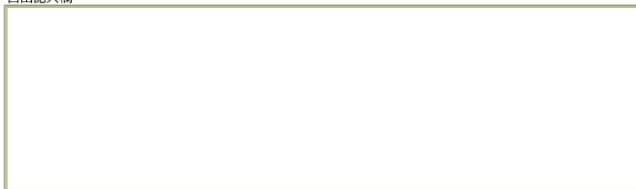
0125,近藤益男,営業,東京都目黒区中目黒2-6-20,176cm,72kg,ConMas i-Reporter 担当



読み取り



The screenshot shows an iPad interface with a dark top bar containing navigation icons and a status bar at the bottom with a question mark icon, a document icon, and a red checkmark icon. The main content area is titled "社員情報" (Employee Information) and contains the following data:

社員情報			
社員コード	0125		
社員名称	近藤益男		
所属	営業		
その他情報			
住所	東京都目黒区中目黒2-6-20		
身長	176cm	体重	72kg
備考	ConMas i-Reporter 担当		
顔写真	自由記入欄		
			

# GS1-128の場合の設定

- 「GS1-128」バーコードとは、データの先頭にデータを識別するアプリケーション識別子(Application Identifier)を持ち、情報を連結して表現できる規格です。
- 規格では、識別子ごとにデータの種類と桁数（固定長/可変長）が定義されています。ConMas i-ReporterではDesigner上で、バーコードに出現する識別子と桁数、及び分解先のクラスターを設定します。
- 分解イメージ



01:商品コード	14912345678904
17:販売期限	990101
30:納品数量	1000
10:Lot番号	12345

# GS1-128の場合の設定

- 「GS1-128」選択時、「バーコード分解 設定」のグリッドに、「アプリケーション識別子」と「桁数」の列が表示されます。
- 「アプリケーション識別子」と「桁数」はセルをダブルクリックして編集できます。
  - アプリケーション識別子：バーコードに出現する識別子を2桁～4桁の数字で入力します。
  - 桁数：固定長の場合は1以上の数値を入力します。未入力の場合、可変長とみなされます。
- 「アプリケーション識別子」(以下、A.I.)は、分解先に設定したレコードでは入力必須となるほか、バーコードに出現する固定長のA.I.は分解後に利用しない場合も入力必須です。



固定長のA.I.は、分解先を設定しない場合も入力しておきます。

No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称	アプリケーション識別子	桁数
親	2	0	商品コード		
1	2	0	商品コード	01	14
2				17	6
3	2	1	ロットNo	30	
4	2	2	重量	10	
5					
6					

「バーコード分解 設定」のA.I.の並び順はバーコードに出現するA.I.の順と異なっていても問題ありません。

# GS1-128の場合の設定(端末設定)

- 外付けバーコードリーダーで読み取る場合、GS1-128バーコードの処理方法は機種によって、主に2パターンに分けられます。ConMas i-Reporter では、以下の2.にのみ対応しております。
  - アプリケーション識別子に()をつけて転送するタイプ
  - 可変長データの区切り目に挿入されている特殊文字[FNC1]を、別の文字に置換して転送するタイプ
- 例：特殊文字をカンマに設定しているリーダーの場合



FNC1



011491234567890417990101301000,1012345

※ バーコードリーダーの設定方法は機種により異なります。ご利用のバーコードリーダーのマニュアルをご参照下さい。



# GS1-128の場合の設定(端末設定)

- 分解を行う準備として、予めバーコードリーダーの設定に合わせて特殊文字の置換先文字を1文字で設定します。
- [設定] - [一般] - [GS1-128の区切り文字] より、2通りの方法で設定できます。※ ( ) 内は設定例
  1. 文字を直接入力する設定
  2. ASCIIコードを入力する設定 (09, 0x09)
- ASCIIコードを入力する設定は [Tab] のように文字で直接入力できない文字種の場合に選択し、2桁の16進数で入力します。先頭に0xをつけることも、省略することも可能です。



内蔵カメラを使用する場合は設定不要です。

# バーコード分解設定 ペースト機能

- 区切り文字タイプが「バイト指定」または「GS1」の場合、グリッド上部にある「ペースト」ボタンをクリックすることで、EXCELのセル等からコピーした情報を、「開始位置」「バイト数」および「アプリケーション識別子」「桁数」にペーストすることができます。

EXCEL上のセルに記述してコピー

	A	B
1	01	14
2	17	6
3	30	4
4	10	5
5		



バーコード分解 設定					
ペースト OK キャンセル					
No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称	アプリケーション識別子	桁数
親	1	1	クラスター-0		
1	1	5	クラスター-1		
2	1	6	クラスター-2		
3	1	15	クラスター-5		
4	1	16	クラスター-6		
5					



バーコード分解 設定					
ペースト OK キャンセル					
No	シートNo	クラスターIndex	クラスター名称	アプリケーション識別子	桁数
親	1	1	クラスター-0		
1	1	5	クラスター-1	01	14
2	1	6	クラスター-2	17	6
3	1	15	クラスター-5	30	4
4	1	16	クラスター-6	10	5
5					

## その他 制約事項

---

- バーコード分解設定されたシートのコピーはできません。